



新年あけましておめでとうございます。10周年の華やかな舞台を終え、新しい年の幕開けとともに次の10年に向かって一步を踏み出した伊都さん。ご本人には大変な道のりかもしれませんが、見守る私達にとっては楽しみな未来です。皆様にとりましても、健康で幸多い年でありますように！！

近況報告

みなさまに支えられて、昨年12月21日に10周年のリサイタルを無事迎えましたこと、あらためて、心より御礼申し上げます。プログラムにも書きましたが、あっという間だったこの10年、初めて舞台に立った時から変わらない、ヴァイオリンを弾くことが大好きで、少しでもたくさんの方の心に届く音楽を奏でることができたらという思いは、月日と共に、宝物のように私の心にしっかりと根付き、この先、私の力の続く限り、心を尽くして、力を尽くして演奏を続け、音楽を紡ぎ続けていきたいと、新しい年の初め、気持ちも新たに頑張っていこうと思っています。今後とも演奏を聴いていただければ幸いです。

また昨年より、もっと身近な場所でヴァイオリンの音色を楽しんでいただけたらとの思いで始めました、ライブハウス等での小さな、そしてジャンルを超えた作品を演奏する、ライブコンサート企画を今年は3月27日に渋谷の東急ホテル内の雰囲気の良い素敵なライブハウスで開催いたします。

演奏家として、今年も足を止めずに走っていきたいと思っています。【伊都】

第10回 加納伊都ヴァイオリンリサイタル

12月21日、記念すべき10回目のリサイタルがみなとみらいホール小ホールで開催されました。10周年に相応しい特別なプログラムとして、ルーマニアの偉大な作曲家エネスコのヴァイオリン・ソナタが披露されました。

伊都さんの現在の師であるルーマニア出身のレムス・アゾイティ氏直伝の演奏を、この曲のために来日してくれた、やはりルーマニア出身のピアニスト、アレクサンドラ・ヴァドゥヴァさんが華麗に彩りました。

エネスコの愛弟子メニューインが「これほど準備するのに厄介な作品はない」と評しただけあって、伊都さんも悪戦苦闘したというこの曲、単に技術の難しさだけではない、解釈や表現など、精神的な深さが要求される曲です。民族音楽の表現ではピカイチの伊都さんだからこそ、アゾイティ先生も薦めたのだろうなあ、と思えるほど、見たこともないルーマニアの風景が浮かぶような叙情性あふれる演奏で、アレクサンドラさんのルーマニア魂のこもったピアノにも圧倒されました。

以前は「もっとクリスマスらしい曲は弾かないの？」という声もあった中で、「日本にまだあまり知られていない素晴らしい曲を紹介したい」という強い思いを伊都さんは10年間貫いてきました。そのおかげで、クラシック音楽に精通していない我々一般人は、伊都さんなしには知ることができなかった数々の名曲、名演奏に触れ、感動を重ねてきたことを思い出させてくれた、まさに10周年らしい一曲でした。





いとちゃんの クラシック講座

op.15

ウィーンの年明けといえば、ウィーンフィルのニューイヤーコンサート、また新年を迎える瞬間に、オーストリア第2の国歌ともいわれる「美しき青きドナウ」に合わせてワルツを踊っていると、良い年になる（踊っていないといけないという人もいます）など、まさに音楽と共に新年を迎える習慣が根付いていますが、コスモポリタンな大都市ロンドンの年末、年始の音楽事情はどうなっているのかというと、かの有名なロイヤル・バレエ団がコベントガーデン（マイ・フェア・レディーの舞台となった場所）のロイヤルオペラハウスで行う「くるみ割り人形」がロンドンの恒例行事として親しまれているようです。クリスマスの夢あふれる楽しく、華やかで、子供も楽しめる「くるみ割り人形」、元旦にはたくさんの花火があがりパレードが繰り広げられるロンドンの年越しは、新しい年を楽しく、元気に迎えようという雰囲気になり溢れています。

【伊都】

ライヴハウスコンサートに行ってみよう！

2009年10月に初めてライヴハウスでのコンサートを行ってから3年後、昨年は3回のライヴコンサートを経験し、クラシックヴァイオリニスト加納伊都に新しい世界が広がった一年でした。今までに会場となったライヴハウスはほとんどがJAZZ中心の店ですが、ソウルフルな伊都さんの演奏にとっても興味を持ってきて、伊都さん自身も今後新たな活動の場として力を入れていくようです。

ライヴハウスの魅力はなんといっても飲食しながらの気楽な雰囲気と、演奏者との近さゆえの熱気あふれるノリの良さ。選曲も肩の凝らない小品です。昨年11月のコンサートではワルツやタンゴから映画やミュージカルまで幅広い曲を演奏しました。「ウエストサイド物語」の曲を弾いてくれたのは、このStrumでDVD紹介をしたから？かどうかは、ご本人には未確認ですが…。ただ、音楽の楽しさは伝えても、基本はクラシックを貫く伊都さんの姿勢はブレません。そこがまたライヴハウス側にも魅力なのかもしれませんね。



Bar Bar Bar

加納伊都ライヴコンサートのお知らせ

2013年 3月27日(水) open 17:30

1st stage 19:30-20:30 2nd stage 21:00-22:00 (入れ替えなし)

※ライヴによって、開場・開演時間が異なる場合があります

JZ Brat SOUND OF TOKYO

(ジェイジーブラット サウンドオブトウキョウ)

東京都渋谷区桜丘町 26-1 セルリアンタワー東急ホテル 2階

演奏曲 クラिसラー：プレリュードとアレグロ ガーシュイン：プレリュード
ヴォーン・ウィリアムス：揚げひばり ピアソラ：リベルタンゴ
J・ウィリアムズ：シンドラのリスト 他

チャージ料 ￥3,150～ ※公演によって料金が異なりますので詳細をご確認下さい
パスタなど美味しいレストランメニューも注文できます (別料金)

予約はインターネットまたは電話で 直接 JZ Brat SOUND OF TOKYO まで

TEL: 03-5728-0168 (受付時間は平日 15:00～21:00)



JZ Brat SOUND OF TOKYO

編集注：

1月14日現在 JZ Brat ホームページに
3月27日のスケジュールはまだ掲載
されていませんでした。詳細は電話で
ご確認ください。

*DVD Classic Collection はお休みします

編集後記 2003年12月23日、初めてのソロコンサートをみなとみらい小ホールで行った伊都さんはウィーンに留学してまだ1年余り、あどけなさの残るお嬢さんでした。あれから10年、舞台の華やかさからは想像できない苦労も経験し、海外で一人頑張って来たはずなのに、それが表に見えないのは生来のおっとりキャラゆえでしょうか。それとも哀しさや激しさのすべてをヴァイオリンで表現しているからでしょうか。昨年末の演奏を聴きながら、10年前と違う音楽を奏でるということは、技術もさることながら、伊都さん自身が深い人になったのだなと、つくづく感じました。アンコール2曲の「アヴェ・マリア」は10年前と同じ曲、「浜辺の歌」は伊都さんのお祖父様が大好きな曲だそうです。

<ゆ>

発行：加納伊都後援会 T R A U B E N

〒231-0835 横浜市中区根岸加曽台 15
TEL：045-622-6780
FAX：045-621-6423
Email：itoviolin-kouen@ac.auone-net.jp
Homepage：http://www.ito-vn.jp/